

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 「ことば」音認知とその障害の神経基盤の解明

2. 研究代表者： 伊藤 哲史（富山大学 医学部 教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、言語音認知障害における、時間変化検出細胞や聴覚注意細胞を選択的に操作する技術を開発し、コミュニケーション音声認知とその障害の神経基盤を解明して治療戦略を打ち出す研究である。

フェーズ1では、音認知障害のメカニズムを、トップダウンとボトムアップの2系統に分ける独自の発想で、マウスなどを用いた生理学的・行動学的解析による精力的な実験により検証し、設定した課題を堅実に進めていることは評価できる。

フェーズ2は、音声認知障害モデルの確立、モデル動物での音声認知障害の治療、より複雑な音声コミュニケーションとしてコウモリを用いる研究などの計画が見られ、今後の展開が期待される。

以上